

2007 - 2008

ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区



京都部部報



BULLETIN 第1号 / 2007.9 発行

京都部部長主題 京都部 555を目指してYと共に更なる飛躍を！
西日本区理事主題 Let's move forward with conviction! 「確信を持って前進しよう！」
国際会長主題 Service Without Borders 「国境なき奉仕」
Let's Show-Let's Grow 「示そうワイズ! 伸ばそうワイズ！」
アジア会長主題 Service Without Borders 「国境なき奉仕」
Let's join under the Y'sMen's Flag 「ワイズメンの旗の下に」



G O G O G O
『555を目指してYと共に更なる飛躍を！』
元気・やる気・根気・本気

第12代 京都部部長 新山 兼 司
京都トップスワイズメンズクラブ

2007年7月1日第12期目の京都部がスタート致しました。今期も前期と同様にスタッフに恵まれ又、京都部全メンバー間の意識を強く持つことによって、組織が円滑に作動し、計画や奉仕活動の遂行に役立つものと考えます。

今期の活動方針と致しまして、京都部は西日本区において最大のメンバーを誇る部です。現況を維持するのではなく、更なるステップと共に京都部555を目指すことによって意義有る起爆剤となる事を願っています。新しいメンバー獲得の為に、メンバー間の意識の向上、所属クラブの活性化の絶好の機会となり、それぞれのクラブが更なる飛躍をされる事を強く望みます。

又、私は西日本区2000推進チームの委員であり、本委員会は西日本区が会員2000

名達成を目標に、複数年にわたり区をあげて会員増強・会員維持に取組み、推進するに当たり、その企画と実行を担当します。京都部は、今期8クラブが周年記念にあたる年を向かえます。それぞれのクラブが周年記念にあたり、企画を練って頂き活動を通して大きなうねりを発信して頂くことを願います。環境問題が引き起こしていると言われる異常気象や地球規模での地震や自然災害。テロや戦争・核の問題。エイズ問題など命のある全てのものが共に生きる平和な世界を築くことをYMCAやワイズメンズクラブに求められ、活動も多様で益々重責となってきています。京都部の感性と高い能力を持っておられるワイズメンと共に切磋琢磨し大きな力を発揮しましょう。

《京都部 役員 抱負》



次期部長 藤田 寿男
京都ウイングワイズメンズクラブ

まだ先の遠い話と思っていた次期部長という響きが少しずつ実感を伴う確かな音声や文字となって自分の周りを飛び交うようになってきました。部の準備役員会で初顔合わせする

方々には、「いよいよ出番」とエネルギッシュな目の輝きを感じますが、もう一年先となる我が身には先ず皆さんの動きを見ていこうというのが正直なところです。4年前に仁科部長のもとで主査として役員に身を委ねた時とは違って、具体的な事業に携わることのない気楽さと一方では戸惑いを感じますが、当時とはまた違う視点でワイズメンズクラブやY M C Aを見ることができるとの期待感もあります。ワイズメン一人一人の使命がY M C Aの使命に重なり合う京都部の姿に期待を込めながら、この一年は新山部長のもとで役員の皆様と協力して「求められることを行う」気持ちで過ごしたいと思います。各クラブにおかれましては次期主査の輩出依頼がありました折にはご協力いただきますようお願い申し上げます。

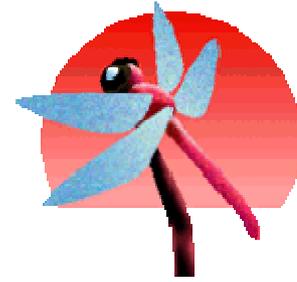


直前部長 大槻 信二
京都センチュリーワイズメンズクラブ

前期は京都部の皆様のお支えにより最後まで無事に努められましたことを御礼申し上げます。

今期は立場を変え、直前部長として新山部長のもと部運営と京都部の発展のために、微力ではございますが、持ちます力を傾注してまいりたいと考えております。

今期、新山部長はその主題として「京都部555を目指してYと共に更なる飛躍を！」を掲げられました。又、その副題には、「元気・やる気・根気・本気」とあります。ここ数年、間近にあります500名体制、手が届きそうで届かない状態が続いていますが、部長の掛け声だけで達成できるものではありません。京都部のメンバー一人一人が、この新山部長の思いを共有して頂き、持ち前の元気さと、達成するぞとのやる気を持って、根気強く本気でことに臨んで頂く様、お願い致します。ここ数年同じワイズでありながら、区においては、その地域性等により、京都部とは異なる事業に対する考え方に直面することが多くなってまいりました。そんな時、部の皆様と共に、直前部長として新山部長を少しでも後押しして行きたいと考えていますので、宜しくお願い致します。



監事 古田 裕和
京都トゥービーワイズメンズクラブ

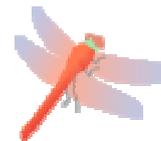
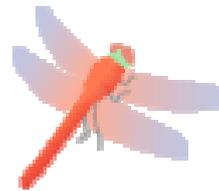


「何やら面白い部になる予感が」

いよいよ新山部長を先頭に京都部第12期がスタートです。「元気・やる気・根気・本気」という主題からもうかがえるように、エネルギッシュで面白そうな期になる予感が

します。そんな中で私も部の役員に携わって4年目で今期は監事を務めさせていただきます。そして最後の年となりましたので、悔いのないよう部役員として少しでもワイズメンズクラブ発展のためにお役に立てればと思っています。よろしくお願い致します。

ここ数年メンバー増強がワイズメンズクラブにおいて重要な課題となっています。部として500名、西日本区として200名という目標に向かって各クラブが色々な方策をたて努力されていると思いますが、やはり面白いところでないとい人は集まらないと思います。実際にメンバーを増やすのは各クラブであり部ではないのですが、各クラブのメンバー増強に対して側面から色々な援護をしていくことが大事だと思います。その一端を担うことができるよう頑張りたいと思いますのでどうか今年1年宜しくお願い致します。





書記 乙坂 優次
京都トップスワイズメンズクラブ

今期、部の書記をさせて頂くことになりました。京都トップスクラブの乙坂です。期の始まる前から、各クラブ会長並びに 役員の皆様には色々とお願いをし、

また協力頂き、お陰をもって新山期の船団が港を離れる事が出来ましたことを感謝致します。されど大海には未知なる世界が広がっているように聞き及んでおります。その世界を各会長はじめクラブメンバーの皆様そして役員の皆様に協力して頂き、一つ一つを吟味し吸収して行きたいと思っております。船団の指揮は新山部長が執り、その周りの艦には執行三役が乗り込みます。しかし、それに続く艦船の力強い協力がなければ船団は成り立ちません。書記としてあらゆる情報を収集し、発信する機能を備えて後続の船団に安心して付いてきて貰えるよう努力したいと思いますので、今後ともご協力の程宜しくお願い致します。微力ながら精一杯頑張る所存です。



書記(事務局長) 船木 成一
京都トップスワイズメンズクラブ

2007 年度新山京都部長の下、京都部のキャビネットとして、諸先輩方が築かれた京都部の素晴らしい歴史の一端を

担えることに喜びと緊張を感じております。一年間京都部キャビネットとして京都部のワイズメンズクラブの皆様と共に活気溢れ楽しい京都部を、より豊かな京都部創りに励みたいと思っております。

私の好きな言葉に「温故知新」と言う言葉があります。時代は急速に変化し、新しいものや考え方が横行し、歴史に根付いた基本を忘れがちです。クラブ運営に於いても、「なんで？」と良く耳にします。常に歴史を紐解き基本を確認すると「なんで？」が解消されます。ワイズメンズ メンズクラブの歴史には諸先輩方の英知が満ち溢れています。新山部長の下、常に皆様と議論し、考え、楽しいクラブライフを過ごせれば、一年後には美酒に酔いしている事でしょう。非力ではございますが、力の限り部運営に携わる決意であります。皆様のご協力の程、宜しくお願い致します。



会計 笠井 俊明
京都トップスワイズメンズクラブ

今期京都部会計をしますトップスクラブの笠井です。これから一年間よろしくお願ひします。

新山部長からキャビネットの 1 人として依頼を受け、喜んで！?引き受けたものなのにぶん初めての事なので少し緊張しております。大切な京都部メンバーのお金を預かることになるので無駄なく、間違いなく、有意義に使用される様に勤めたいと思ひます。また所属クラブで会計をした経験が少なからず助けになってくれればと思ひています。さて、部の予算案を作成していくうちにここ数年は大変厳しいものになっていることがわかりました。大きな理由はメンバーが減少している為です。会計の立場から見ても何といってもメンバー増強が必要です。ぜひよろしくお願ひします。

そして今期の予算案ですが見ていただければお分かりのように先程通り厳しいものになっています。部では事業に対して多くの予算が本当に取れません。部の事業は取りまとめや広報的なことが中心にならざるをえないのが実情です。

そういう中で創意工夫した事業が出来ればよいのですけれど。最後に会計として一番たいいじな事、大きい声で言ひます。「各クラブにおきましては年 2 回の部費納付には速やかにお願ひします。」



統括連絡主事 西岡 義郎
京都YMCA

「他に類を見ない実績を持つ市民活動としてのワイズ運動」

京都 YMCA は、市民活動として責任を持って使命の実現するために財団法人、学校法人の法人格を持って運動を展開しています。「青少年の育成」「福祉社会の構築」「ボランティア社会の構築」「異文化共生社会の構築」「生涯学習社会の構築」を目指し、民間団体、公益団体、市民運動として事業を展開しています。この YMCA 運動にとって今日なくてはならないのが京都部における各クラブの働きです。

京都部におけるワイズ運動は、市民活動としてすばらしい実績を持っています。各クラブの独自事業も勿論そうですが、京都 YMCA によせられる個人として、クラブとしての奉仕活動は他団体には無い誇れるものです。また、他団体からは高い評価を得ているものでもあります。

今期も心を合わせ、知恵をあわせ、新しい市民社会を形成する運動を YMCA と共に、ワイズと共に展開していきましょう。

《京都部 事業主査 抱負》



YMC Aサービス・コース事業主査 竹田 博和
京都キャピタルワイズメンズクラブ

主題：「ともに歩むYMC A」

ワイズメンズクラブはYMC Aのサービスクラブとして存在しています。それぞれのメンバーはそれぞれの距離でYMC Aを感じておられると思いますが、今期一年間Yサ事業をそしてYMC Aを大いに楽しめるよう努力します。YMC Aの各事業に積極的に参加する事によりそれぞれのレベルでYMC Aをより身近なものとし、ワイズメンズクラブがYMC Aと共にあることを理解する。



地域奉仕・環境事業主査 上澤 正廣
京都エイブルワイズメンズクラブ

主題：もったいない(環境) もったいない(感謝)

昨年度はクラブ会長としてYMC Aの事業、西日本区の事業、京都部の事業を体験させていただき多くの人達との出会いがあり親睦が生まれました。今年は新山京都部長のもと地域奉仕・環境事業主査をさせて頂くことになりました。宜しくお願ひ致します。

京都部の各クラブさんにおかれましてはそれぞれ充実された地域奉仕活動をされていることと思います。部の事業といたしましては5ヵ年継続統一事業「STOP・HIV/AIDS プロジェクト」は3年目となり昨年に引き続き啓蒙活動の実施、Ysデー事業の企画、CSチャリティボウリング大会を行い各クラブのメンバーやサポート先の人達との出会いを大切にしたいと思ひます。



EMC事業主査 三村 良行
京都プリンスワイズメンズクラブ

主題：【地道に、確実に、555をめざし】

今期EMC主査を務めさせて頂くことになりました京都プリンスクラブの三村良行です。新山部長が今期京都部の更なる飛躍のため、部長主題、活動方針等でメンバー数555名を目指し活動される事を強く決意されております。メンバーの増員は先の西日本区役員研修会でも最重要課題として取り扱われました。メンバーの減少は西日本区の会計の圧迫や各クラブの衰退などに直結しております。近年、京都部でもメンバーを増強出来ているクラブと出来ていないクラブとの差が顕著に表れていると思ひます。私の思いではクラブを円滑に運営するには、メンバー数が最低30名は必要であると思ひます。しかし京都部のクラブで現在30名以上のメンバー数で活動されているのは18クラブ中数クラブしかございません。よって各クラブには今期30名体制に出来るように計画して頂き運営して頂く事をお願いしていきたくと思ひます。各クラブ会長、EMC委員長の方々にはお世話になると思ひますが宜しくご協力お願ひ致します。



ファンド事業主査 中村 豊
京都ウエストワイズメンズクラブ

主題：もっと知ろう、ポテトだけでなく、BF・EF・JWF

今期、ファンド事業主査を拝命しましたウエストクラブの中村豊と申します。一年間よろしくお願ひいたします。掲げました主題は、本事業を普段のワイズライフにもっと取り入れて頂きたいとの思いからです。ベテランメンバーであれば、切手を貼った郵便物を見れば、取り敢えずその廻りを手でちぎってでも保管しておくクセが身につけているものと存じます。このクセがもっとファンド事業の献金にも広がって欲しいものと考えます。



交流事業主査 二井 徹
京都グローバルワイズメンズクラブ

主題：より深く、より広く、より楽しい交流を

I B C, D B Cの楽しさを知ってもらうには、実際に交流をしてみないとわかりません。ですから締結されていないクラブにはぜひとも締結に向け活動を開始していただきたい。より広くワイズメンズ活動を行っていただけることとなります。既に締結されているクラブにはより楽しく、より深く交流活動を継続して頂けるように御願ひ致します。ここ数年間活動のないY E E P, S T E Pへの参加、受け入れを宜しくお願ひいたします。



広報事業主査 森 泰弘
みやびワイズメンズクラブ

主題： 広めよう！ グッド例会（企画）

京都みやびワイズメンズクラブの森泰弘と申します。短い1年間では在りますが、身の丈にあった活動を行ないたいと思います。

今期、部長主題の「京都部555を目指してYと共に更なる飛躍を！」の実現に向け、BIC事業と協働して取り組む。ホームページのアクセス数のアップ、プレスリリースの活用、京都YMCA 三條本館ロビーに「ワイズメンズクラブ広報」板等を活用し、広く社会にアピールを行なう。各クラブ会長および広報事業委員長に、年間事業の中でEMC事業関連等の例会・企画を京都部ホームページ、広報板の活用推進をおねがいします。



メネット事業主査 加藤 智子
京都トップスワイズメンズクラブ

主題：広げようメネットの輪・支えようワイズメン

今期西日本区メネット事業主任の方針に基づき活動して行きたいと思います。

京都部合同メネット会にはメネット会の無いクラブのメネットの皆様にもぜひ参加して頂き、メネットの輪が広がる様に進めて行きたいと思っています。

部長公式訪問及び随行主査日程表

クラブ名	公式訪問日・会場	同行主査
京都キャピタルクラブ	7月17日(火)19:00	中村豊 ファンド事業
	ウエスティン都H京都	森泰弘 広報事業
京都ウエストクラブ	7月26日(木)19:00	三村良行 EMC事業
	リーガロイヤルH京都	二井徹 交流事業
京都ウェルクラブ	8月7日(火)19:00	上澤正廣 地域奉仕・環境事業
	平安会館	二井徹 交流事業
京都トウビークラブ	8月8日(水)19:00	竹田博和 Yサ・ユース事業
	京都全日空H	中村豊 ファンド事業
京都グローバルクラブ	8月22日(水)19:00	上澤正廣 地域奉仕・環境事業
	リーガロイヤルH京都	三村良行 EMC事業
京都めいぶるクラブ	8月27日(月)19:00	中村豊 ファンド事業
	ウエスティン都H京都	森泰弘 広報事業
福知山クラブ	9月11日(火)19:00	森泰弘 広報事業
	福知山YMCA	竹田博和 Yサ・ユース事業
京都パレスクラブ	9月26日(水)19:00	上澤正廣 地域奉仕・環境事業
	京都ブライトンH	二井徹 交流事業
京都洛中クラブ	9月27日(木)19:00	三村良行 EMC事業
	京都全日空H	竹田博和 Yサ・ユース事業
京都エイブルクラブ	10月9日(火)19:00	三村良行 EMC事業
	パルセスイン京都	森泰弘 広報事業
京都東横クラブ	10月11日(木)19:00	二井徹 交流事業
	山科アスニー	三村良行 EMC事業
京都プリンスクラブ	10月17日(水)19:00	中村豊 ファンド事業
	グランドプリンスH京都	竹田博和 Yサ・ユース事業
京都ウイングクラブ	11月1日(木)19:00	森泰弘 広報事業
	H日航プリンセス京都	竹田博和 Yサ・ユース事業
京都みやびクラブ	11月20日(火)19:00	中村豊 ファンド事業
	Hセントノーム京都	二井徹 交流事業
京都センチュリークラブ	1月17日(木)19:00	竹田博和 Yサ・ユース事業
	ザ・パレスサイトH	上澤正廣 地域奉仕・環境事業
京都クラブ	2月12日(火)19:00	森泰弘 広報事業
	Hプリンセス京都	上澤正廣 地域奉仕・環境事業
京都さくらクラブ	2月20日(水)19:00	三村良行 EMC事業
	弥生会館	二井徹 交流事業
京都トップスクラブ	3月12日(水)19:00	上澤正廣 地域奉仕・環境事業
	ウエスティン都H京都	中村豊 ファンド事業

評議会及び役員会開催日

開催日				評議会	役員会
19年	6	17	日	第1回部評議会	
	7	13	金		第1回部役員会
	8	17	金		第2回部役員会
20年	9	7	金		第3回部役員会
	9	9	日	第2回部評議会	
	10	12	金		第4回部役員会
	11	9	金		第5回部役員会
	12	7	金		第6回部役員会
	1	11	金		第7回部役員会
	2	8	金		第8回部役員会
	2	17	日	第3回部評議会	
	3	14	金		第9回部役員会
	4	11	金		第10回部役員会
	5	9	金		第11回部役員会
	6	6	金		第12回部役員会
6	22	日	第4回部評議会		

京都部クラブ会長

クラブ名	会長名
京都ワイズメンズクラブ	鎌谷 将宏
福知山ワイズメンズクラブ	浅尾 善逸
京都パレスワイズメンズクラブ	川上 孝司
京都ウエストワイズメンズクラブ	岩本 敬子
京都めいぶるワイズメンズクラブ	青木 繁幸
京都キャピタルワイズメンズクラブ	山田 隆之
京都プリンスワイズメンズクラブ	西村 博
京都センチュリーワイズメンズクラブ	岡見 弘道
京都ウイングワイズメンズクラブ	中村 弘二
京都洛中ワイズメンズクラブ	室田 博行
京都エイブルワイズメンズクラブ	大場 朗
京都グローバルワイズメンズクラブ	大岩 英人
京都みやびワイズメンズクラブ	前 登
京都さくらワイズメンズクラブ	佐々木 稔
京都トップスワイズメンズクラブ	宮尾 勝己
京都トウビーワイズメンズクラブ	山内 哲
京都東横ワイズメンズクラブ	小野 眞一
京都ウェルワイズメンズクラブ	松田 博一

《京都部 各クラブ会長 抱負》

京都ワイズメンズクラブ

会長 鍵谷 将宏

主題 『集めよう新しい力』

今期は各事業において EMC をテーマにし、1年を通して特に会員の増強に力を注ぎます。本来の目的である YMCA のサポートを念頭に置き、様々な事業に参加することによって入会候補者に京都クラブを理解してもらうと共に、その喜びを分かち合えるようなプログラムづくりを考えて行きます。

また今期は京都クラブ設立 60 周年を迎えるので、その歴史に恥じる事のないクラブ運営や主張のある記念例会の開催、新しい形で YMCA をサポートできるような記念事業を検討し、実行したいと考えます。そしてワイズメンズクラブを通して YMCA と関わることにより得られる喜びを、少しでも多くの人に伝えられればと思っています。

福知山ワイズメンズクラブ

会長 浅尾 善逸

主題 『メンバー増強を確かなものに』

福知山クラブはメンバー数が少ないながらも、地域に密着して活動を続けてきました。間もなく近づく夏休みの7月下旬には、YMCA 会館前の川で第 22 回クリーン弘法川と魚つかみ大会をおこないます。この催しは地域自治会、子供会が協力し、行政の京都府や信用金庫、創生大学の学生も参加しての河川掃除に発展しました。新年には第 31 回の新年席上書初大会を主催します。福知山市市民憲章の中から題材を手本に取り上げているので 2008 年に開催の全国人権大会には、ユニークな例として紹介されるでしょう。又子供の日には第 42 回福知山市子供大会に竹細工コーナーを設けます。その他市民レクリエーシ

ョン大会への参加、十勝じゃがいも販売による資金援助、福知山市国際交流ふれあい祭りへの参加等運動をしてきました。

これらの活動は何れも長期にわたり継続されてきたものであり、この事は少数メンバーながら皆が健康であり元気であり、長年の経験とノウハウの蓄積の賜物であります。

然しながら、メンバー数 10 名、平均年齢 71 歳の現状は福知山クラブの存続が危ぶまれる悲痛な思いである。

本年は伝統ある行事を継続しながらメンバー増強を現実なものとしたいとぞんじます。

新メンバーが入ってきたとしても、フレッシュな人々に私たちのじめじめした思いを伝わらせず元気が充満した和気藹々の例会にしたいとおもいます。

そして、そんな例会に一人でも新しいメンバーを迎えて行きたいと思います。

京都部部長主題はメンバー増強 555 名を目標とした 京都部 555 を目指して Y と共に更なる飛躍を！ 副題 元気・やる気・根気・本気 である。まさしく私どもに与えられた課題であります。

「危機感を持って！会員増強と会員維持」を絶叫する EMC 主任澤田賢司氏(京都グローバル)の熱い熱い思いも伝わってきます。

何としてもメンバー増強の悲願をかけて努力したい熱い思いであります

京都パレスワイズメンズクラブ

会長 川上 孝司

主題 『“ Hand in Hand ”』

この言葉は、20 年ほど前に私が人生の歩む上でひとつの道しるべとして作ったものです。「この地上に生まれた最初的人类は地球の大自然と向かい合い、地球の鼓動を感じながら生きていた」といった思いです。私たちは常に大自然の中に生かされています、実は

もうひとつ忘れてはいけないものがあります。それは私たちをとり巻く人と人との関わり合いです。その総てのものとの Hand in Hand を考えたいのです。現在私たちは、大自然という途轍もない大きな環境と、人と人との関わる社会環境の中にいます、そこではさまざまな考え方、性格の違い、異なる欲求等を持った人との係わり合いをもって共に生きています。私たちは、共に助け合い、共に楽しみ、共に幸せを感じたいと、いつでも思っています。こういった環境を作っていくとすると、一人では成しえませんが、すばらしい考えや、正しいものの考え方を持った、より多くの人と人との「手を取りあい」、優しい心配りを持って交流することで、初めて実現するのではないのでしょうか。この地球上で私たちワイズメンズクラブの仲間の輪は、ほんの小さな輪に過ぎませんが、確かに、人々の心をも動かす力を持っています。この力でもっと大きな輪を作り、私たちの地球の環境そして、私たちをとりまく社会環境を見つめ、よりすばらしいものにして行こうではありませんか。

京都ウエストワイズメンズクラブ
会長 岩本敬子

主題 『笑顔』

ワイズ歴 12 年目に入り、会長をさせていただくわけですが、私でできることは？ といつも問う日々です。いろいろな方のお話を聞き積極的に、参加し、知り合い、知識を広めることが、私の楽しみです。苦しい中でも笑顔がでる、プラス思考で前向きに生きること。これならできるかと。ある方が、奉仕する者が、必死に生きてほしい。と言われていました。このごろは命を大事にしない兆候がうかがえます。世界では今日一日を生きられたことに感謝している人々がたくさんいます。私は間接的でも、支援できればと考えます。

YMCA を通じて、私たちはすでにしているわけですが、知らないこと知ろう努力し、喜んで、会長職をさせていただき、楽しんで例会に参加し、今日 1 日すごせてことに感謝して、皆様と共に 1 年間過ごしていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願いいたします。

京都めいぶるワイズメンズクラブ
会長 青木繁幸

主題 『未来のために』

京都めいぶるクラブ 25 期会長の青木です。今回は二回目の会長、前はちょうど 10 年前、40 歳そこそこで体力もあつたのですが 50 歳を超えてくるとさすがに衰えてきますね。

今期は地球温暖化と HIV/AIDS という、どちらも地球の未来にとって大きな問題をテーマに、一年間我々ワイズメンが何をすべきか、何が出来るかということを考えていきたいと思えます。

京都キャピタルワイズメンズクラブ
会長 山田隆之

主題 『Ahead of a generation』

伝統と実績を理解しながらも、今一度クラブ活動を見つめなおしたいと思えます。クラブ活動に対する思いは個々に違いがあっても、お互いに理解し、尊重しあいながら目的に向かって一丸となって活動したいと考えております。

今期の主題は ahead of a generation 「世代を越えて」と言う意味ですが、キャピタルクラブも 25 周年をまじかに控え、メンバー構成においてもチャーター時は平均年齢 39 才で、年齢差は 24 才、10 周年では平均年齢 43 才で、年齢差は 34 才、23 年向え

た今期は平均年齢 50 才で、年齢差は 48 才です。だんだん世代が広がり、考え方や思想が違ってくると思いますが、若い世代のメンバーはベテランメンバーから教育を受け、ベテランメンバーは若い世代のメンバーから元気や刺激を受けて頂き、世代を越えた素晴らしいクラブにさらなる発展ができればと思っています。また、チャーター時からの年齢推移を確認してみました。チャーター時より年齢層が広がり、チャーターから 23 年経過しているにもかかわらず、平均年齢が約 10 才しか増加していないのは、メンバーの皆様が、今まで努力された成果がこの数字に表れていると感じました。

今期は 3 年計画で進めております地域奉仕の新しいサポート先なども具体的にしている年でもあります、少年の凶悪犯罪、子供や弱者に対する殺人、拳銃による犯罪など、どこか今の社会は狂ってきていると思います。CS を充実し、地域社会に YMCA を通じての活動のなかから貢献していきたいと思えます。

また西日本区や京都部においても会員の減少が叫ばれておられます、西日本区においては現在までの繰越金を切り崩して赤字を補填されている状況であり、2006～2007 年度も会員減少が主な要因として、¥3,156,000 円の赤字予算が組まれているようです。新山次期京都部長も京都部 1 割以上の増強を目標に挙げられておられますので、キャピタルクラブにおいても、相応しいメンバーを一人でも多く増強していきたいと思えます。

京都プリンスワイズメンズクラブ
会長 西村 博

主題 『“果敢に!そして誠実に”』

ここ四半世紀の世の中の変化はかつて予想もつかなかったほどのスピードでドメスティックに動いています。そんな時だからこ

そ時流を的確に捉え、足元を見極めて果敢に何事にもチャレンジしてゆく対応の必要性があると考えます。皆様は私の標語には[猪突猛進]がふさわしいとおっしゃいますが確かにそのご指摘はあたっているかとも思います。しかしその行動は無謀であってはならないと思います。常に誠意を持って他者を思いやり誠実にことにあたって行くことこそ、今求められている事ではないかと考えます。自分に対して振り返って恥ずべきことはないか、他者に対して不誠実なことはないかと自問自答しつつ、この大きな会長職を全うしていきたいと思っております。

小泉前会長の 20 周年の年を引き継ぎ、新生プリンスのあり方をメンバーと共に模索しながら、さまざまな分野で“果敢にそして誠実に”ことを進めてまいりたいと思っておりますので、メンバー全員のご協力をお願い致します。

微力ながら、皆様のお力を得て“果敢にそして誠実に”会長として努力してまいりますので、手を携えてクラブライフの充実にまい進していきましょう。

この一年間宜しくご指導下さい。

京都センチュリーワイズメンズクラブ
会長 岡見 弘道

主題 『ほどよく無理をする!』

ワイズメンズクラブの活動の目的は、YMCA サポートを軸としながら、異業種・異なる地域・異なる状況にある人々との出会い、各クラブ独自のボランティア活動、自己研鑽などなど。他にもあると思えますが、何よりも自分自身の基盤、例えば仕事や家庭、あるいは地域への関わりなどがあってこそその活動であると思っておりますので、それらを着実にこなした上で、自身に負荷をかけてワイズメンズクラブ活動に精進したいと考えております。

京都ウイングワイズメンズクラブ

会長 中村 弘二

主題 『Share(共に分かち合い・共に考える)』

ウイングクラブは今期 20 周年を迎えました、20 周年記念例会の開催・韓国金浦クラブとの IBS 交流の充実・DBC 交流の停滞打破・Yサ事業の一層の充実・地域奉仕の更なる飛躍と考えれば数々の事業活動が目白押しです、メンバー全員でこの各事業を乗り越えて更なるクラブの発展を 22 期以降に伝えましょう。

今ウイングクラブの環境は内に外にと積極的にメンバーの思考と奉仕が働きクラブ運営が巧く行っていますがこれに安住する事なく更なる発展をしていきましょう。

京都洛中ワイズメンズクラブ

会長 室田 博行

主題 『初心に返りクラブの更なる飛躍を……！』

何の取柄もなく、ただ名前を連ねただけでワイズメンバーを早 14 年という歳月が経りました。

よく続いたものだと思っても感心していません。自分にとってのワイズは生きた生涯学習だと思っています。ですから例会、その他の行事には出来るだけ参加し、諸先輩のお話、ゲストスピーカによるお話、アクティブテイ、etc で、自分を磨きそしてワイズクラブの発展に協力したいと思っていました。ところが、引継ぎ例会間近に自分の不注意の為親指に大怪我を負いメンバーetcに大変ご迷惑をお掛けいたしまして申し訳なく思っております。怪我の方も日々回復しておりますので通常の活動にこれからは頑張るつもりです。

洛中も今期 20 周年記念例会が 2008 年 1 月 13 日に開催されその他の行事と多々あり

ますが、まずはメンバー増員が最大の課題だと思っております。そして Y M C A や地域の方々になんらかの形で喜んでいただけたら嬉しく思います。

沢山の仲間に支えてもらいながら人生勉強に精を出して生きたいと思えます。微力ながら 1 年間頑張ります。

京都エイブルワイズメンズクラブ

会長 大場 朗

主題 『前進・行動・未来』

今期、京都エイブルクラブの 18 期会長をさせていただきます。ワイズ在籍年数は長いのですが、エイブルクラブに於いては若手メンバーとして 10 数年過ごさせていただき、とうとう順番が回ってきたような次第です。

さて、エイブルクラブも思春期を過ぎ青年期に入ろうとしております。ワイズメンズ全体にメンバーの減少という問題が深刻化しているなか、等クラブも例外ではありません。今後、クラブが 20 年・30 年と続くためには、新しいメンバー、古いメンバーが入り乱れてのクラブ運営・事業が行える事が重要だと思います。今までのカテゴリーにとらわれず、前を見て、行動すれば、必ず未来は明るいと思っております。この 1 年もよろしく願いいたします。

京都グローバルワイズメンズクラブ

会長 大岩 英人

主題 『ひとりの一歩、みんなで一歩、世界に一歩』

抱負： 15 周年はグローバルクラブにとって重要な節目の年であると思えます。通常事業に加え、カンボジアでの学校建設を始め、様々な記念アクトが行われます。これらの事業を成功するには各事業委員会だけではな

く、他の事業委員会との連携、協力が不可欠だと思います。そしてメンバー丸となり、メンバー全員が各事業に対し関心を持ち『一歩進んで』取り組んでいける様な企画、雰囲気を作りたいと思います。

そして5年後の20周年に向け、更に輝くグローバルクラブの礎を築きたいと思えます。

京都みやびワイズメンズクラブ
会長 前 登

主題 『もう一歩、プラス1！』

「もう一歩、プラス1！」を今期の会長標語とさせていただきます。

みやびクラブも今期でチャーター以来15周年を迎えます。15年目というわけではありませんが、私も澤直前会長同様2回目の会長となりました。前回は8期目の会長でしたので7年ぶりの会長です。

今期の標語は上記のように「もう一歩、プラス1」とさせていただいたのは、現メンバーの技量にさらにプラスアルファ1をめざしましょうという、ある意味では過酷な要望です。副題はなしとしましたのはメンバー個々にその具体的内容を考えてもらうようにしました。

ただそのために活動を見直し、縮小するべきものと力をいれるものを取捨選択する必要も当然でできます。すべての活動を継続して拡大してゆくことは現メンバー勢力の中では難しく、会長含め3役は兼務が多くすべての活動にかかわるので、当然負担が大きくなり破綻や疑念がでてしまうことになりま。ただ活動の選択と集中効率化をすれば、まだもう一歩プラス1のことができる可能性はあると思っています。

クラブの力は一概にメンバー数比例とは考えておりません。個々のメンバーが最大限の力を発揮できるクラブ環境にいかにある

かではないでしょうか。ただそのためには常に高いモチベーションを維持できるクラブでなければなりません。そしてクラブを継続してゆく力のためには新しいメンバー、若いメンバーの力に頼るところが少なくはありません。どのような組織も同様です。今期は私会長を含めメンバーのひとりひとりがそれぞれ1メンバーを増やす決意で、実行力を発揮していただきたいと思えます。

今期は将来のみやびクラブ発展の力の源泉また糸口を作りたいと思えますので、メンバーの皆様方のなおいっそうのご協力をお願いするしだいです。

いつもながら我がクラブメンバーそしてメネットの皆様の活躍に深く感謝してやみません。

京都さくらワイズメンズクラブ
会長 佐々木 稔

主題 『努力あるのみ』

新しい期がはじまります。良いことを考えてもなかなか行動が突ってくれない苛立ちの中でスタートします。クラブ標語の副題を「皆なで智恵を出しあおう」としました。小さな事からこつこつと学びつつ、実践にむけてがんばります。メンバー数が増えない原因は色々あります。この事は私のクラブでなくても似ていると思えます。

こどもの頃に歌った唱歌に“お山の杉の子”というのがありますが、正に今のさくらクラブの心境ですが、さて、こんな唱歌を知っていて歌える事そのものがワイズの高齢化を如実に表しているのではないのでしょうか。人数が多くなければ良い奉仕はおろか、学び取っていく事もできません。他のクラブと行動を共にして、クラブが一緒になっても、奉仕に励みたいのが今の心境で、努力あるのみです。

京都トッスワイズメンズクラブ会長
会長 宮尾勝己

主題 『「和気藹々」笑顔で感謝しよう』

始めまして、トッスクラブ第14代会長を
させていただきます宮尾勝己と申します。今
期一年間、同期の会長さん初め京都部の部長、
役員の皆さんどうぞご指導のほどよろしく
お願いします。

今期の主題ですが私なりに色々と考えた末、
ごくごく自然体でありたいと今のトッス
クラブの一番似合っている言葉、またはそう
いう風になりたいと思ひまして、

「和気藹々」笑顔で感謝しよう とつけさせ
て頂きました。

普段当たり前のように聞きなれている言葉
ですが、とっても意味のある大事な言葉だと思
います。

トッスクラブの例会や委員会またはさま
ざまな活動がまさしく和気藹々と皆が仲良
くほのぼのとした様子でその中にきっちり
とした締りが有ると思っております。

前期で築いたクラブの元気玉を京都部の部
会ホストで爆発させて、これを期により一層
にみんなの和が築けますように楽しく一年
間、会長職をつとめて行きたいと思ひます。

京都トゥービーワイズメンズクラブ
会長 山内 哲

主題 活性! 『TOBE Style の確立!!』

おかげさまで、あのチャーターナイトから、
7月で早や10年が経ちました。ワイズ歴豊
富なキーメンバー諸氏と、私のような何も判
らなかつたチャーターメンバーたち、そして
その後のニューメンバーたちとの「融合」に
よって、この10周年の期を迎えることが
できました。

われわれは、「IDEA OF ToBe」の精神を根
底に、個々のメンバーの感性の「調和」によ

って、ささやかながら、いくつかの事業を行
なうことができました。

この10年間に培ったアイデンティティー
を大切に、メンバーひとりひとりが、マイ
ンド(ワイズへの関わりの内面的な気持ち)
をさらにもっと活性し、10周年期のこの1
年間を「メンバー全員による、記憶に残る演
出」で、このTOBEのスタイルを確固たるも
のに確立させて行けるよう、努力してゆきた
いと思ひます。「喜んでもらって、我々も楽
しめる。」これが全てです。京都部の皆さん、
まだまだ未熟なクラブですが、どうかよろし
くお願いします。

京都東稜ワイズメンズクラブ
会長 小野 眞一

主題 『あつまろう感謝と豊かな心で』

東稜クラブは第4期を迎えます。私たちは今
までのクラブスタイルの殻を破った新しい
感性でクラブ運営を行ってまいりました。今
後も依り新鮮なクラブスタイルを確立いた
します。只その活動は常に「健全な青少年の
育成と地域と密着した奉仕活動」の基本理念
を規範とした事業を行ってまいります。

その活動となる柱は、毎月最終の日曜日の
早朝に行っている「地域クリーン」例会。

「あしなが育英会学生の会」の支援。「京
都てんとう虫マラソン大会」の開催です。こ
の3つの事業は3年間の継続事業として確
実なものとなりました。今期はこの3つの柱
にキーメンバー5名が中心となってさらに
地域との融合できる新事業を開拓いたしま
す。

クラブ運営は、今期からキーメンバーを除く
若いメンバーが中心となって活動しキーメ
ンバーは黒子に徹してサポートします。そし
て例会を含め常に「あつまろう感謝と豊かな
心で」を忘れることなく皆で集います。

京都ウェルワイズメンズクラブ

会長 松田博一

主題 『Touch The Heart』

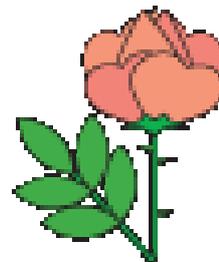
「私は京都ウェルワイズメンズクラブに入会して、本当によかったと思っています。このクラブに入会できたことを心から感謝しています。」

このような一文で、会長主題をはじめましたが、これは私の偽らざる気持ちです。皆様方はいかがでしょうか？

ウェルクラブのメンバーはもちろん、多くのワイズメンの方々がこのように思っておられることを、私は信じております。

私が今期目標にしていますのは、奉仕をする側、される側という関係ではなく、同じ活動に参加する仲間として、一つひとつの活動を大切にしていくことです。たとえ、同じ時間、同じ場所を共有できなくても、しっかりと一つにつながった活動を行っていきたいと思います。

どうかこの一年、よろしく願いいたします。



JWF 管理委員会報告

JWF 管理委員長 正村 公一

あらためて、JWF について整理を致しますと、JWF とは“ ジャパン・ウエスト・フ
ァンド ”の略称であり、西日本区ワイズ活動の発展と継承への奉仕活動を支えるための
西日本区の資産勘定内の重要かつ中心的存在であります。

1975 年熱海で開催された国際大会を記念して発足したアタミ基金にこの発端をな
し、1982 年に日本ワイズ基金と改称され、1997 年の日本区 2 分割に伴い、その日本ワ
イズ基金を均等に配分された、1940 万円強を原資金として西日本区ワイズ基金と制定
されてから現在に至っております。

発足以来今日までなだらかながらも右肩上がりの推移をたどりつつ、本年度末日限り
で基金総額は 2550 万円を越えることが出来ましたことに心より感謝であります。

しかしながら、昨今の経済状況の悪化と地域格差に加えて不透明な展開の中で、献金
へのお誘いの困難さを感じつつも JWF の意図するものを再確認すべき大切な時期だと思
っております。かような時こそ、財務基盤の一層の健全。強化を図る必要性を痛感い
たします。国内外を含めて特に日本国内の災害が頻発している現状を見ると、区の財
政基盤が軟弱では、国際に対しても充分な行動を起こすことは不可能です。今こそ JWF
への促進、理解が大きな前提になることは当然であります。

JWF の意義や歴史を説明し、機会ある度に皆様へご協力を訴えてまいりました。特
に、役員会開催時では役員皆様にご協力をお願いしてきました。

JWF は年間献金目標額を定めていませんが、西日本区の発展と活動を支えるために必
要な備えとなります。いずれにしましても資金増加の原点は唯一、皆様の献金に依存し
ているのが現実であります。

人生の節目または自分にとって大きな感動や感謝を受けたとき、部やクラブのイベン
ト、周年の祝意を意識したとき、ワイズメンズクラブに所属していること、そしてワイ
ズメンに誇りと感謝の心で JWF 献金増加のために献金という形で表現して下さい。私
達のこうした行為はワイズ全体から見ればほんの一握りの小さな善意かも知れません。し
かし、積み積み積もって大きなウネリとなって、きっとその流れが前向きに変わること
でしょう。そのことが西日本区ワイズ活動の栄光につながると確信しております。

資金の運用についての活発な論議が成される時こそ、西日本区のワイズ活動の飛躍的
な活動進歩の時期であると確信しております。「温かい心と冷静な判断」をモットーと
して、弾力的、効果的執行を図る意味からも前向きに検討したいと考えております。

JWF を広く、大きく育ててゆきたいと思っております。今後とも皆様からの理解と
温かい献金をお願い致します。

(2007 年 6 月 30 日現在)

前年度繰越金 ￥ 25 , 234 , 220 -

当年度献金額 ￥ 628 , 800 -

第11期(2006.07.01~2007.06.30)京都部決算、第二回評議会(2007/9/9)にて承認

第11期 京都部決算
2006.07.01~2007.06.30

一般会計収入の部

科目	当初予算	修正予算	第11期決算額	備考
部費	1,323,000	1,326,000	1,323,000	前期442x@1,500 後期440x@1,500
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区より部一律
部活動援助金2	88,200	88,400	88,400	西日本区より部一律部前期メンバー1人当り@¥200
利息			959	
単年度収入小計	1,511,200	1,514,400	1,512,359	
前期繰り越し金	1,203,650	1,192,809	1,191,969	振込み手数料840円マイナスにて繰り越し受入
合計	2,714,850	2,707,209	2,704,328	

一般会計支出の部

科目	当初予算	修正予算	第11期決算額	備考
事業費	140,000	140,000	140,000	主査活動費 @¥20,000x7事業
部事業費	290,000	360,000	325,630	
ソフトボール支援金	0	0	0	
会議費	110,000	110,000	79,000	役員会・評議会・三役会 会場費等
印刷費	355,000	355,000	267,072	部報・会議資料等
部会補助費	455,000	459,000	459,000	@ ¥1,000x459人(連絡主事含む)
研修費	188,000	188,000	231,560	研修会登録費 会場変更及び1名増
通信費	100,000	100,000	83,235	郵便・電話・振込手数料・部ホームページ維持費
事務費	50,000	50,000	22,638	(ピンパッチ含む)
慶弔費	50,000	50,000	0	
単年度支出小計	1,738,000	1,812,000	1,608,135	単年度収入-単年度支出 ¥95,776-赤字
次期繰越金	976,850	895,209	1,096,193	
合計	2,714,850	2,707,209	2,704,328	

特別会計収入の部

	当初予算	修正予算	第11期決算額	備考
前期繰越金	410,958	440,958	440,958	
一般会計より	30,000	30,000	30,000	
合計	440,958	470,958	470,958	

特別会計支出の部

	当初予算	修正予算額	第11期決算額	備考
YEEP支援支出	0	0	0	
ユースコンポーション支援金	0	150,000	150,000	YC支援金
予備費	440,958	320,958	320,958	
合計	440,958	470,958	470,958	

一般会計支出明細

科目	細目	修正予算額	決算額	備考
事業費	Yサ・ユース事業	20,000	20,000	各事業運営経費・資料・通信費等 各主査予算オーバー分は自弁とし て頂きました。
	EMC事業	20,000	20,000	
	地域奉仕事業	20,000	20,000	
	ファンド事業	20,000	20,000	
	交流事業	20,000	20,000	
	広報事業	20,000	20,000	
	メネット事業	20,000	20,000	
小計		140,000	140,000	
部事業費	Yサ・ユース事業	50,000	30,000	国際協力街頭募金支援
	EMC交流会	70,000	70,000	
	CSチャリティーボウリング	80,000	80,000	
	ワイズデー事業	50,000	35,630	会場費含む(12000)
	合同メネット会関連	80,000	80,000	会場費含む(10000)
	特別会計へ	30,000	30,000	ユースコンボケーション支援
小計		360,000	325,630	
会議費	役員会	60,000	36,000	12回
	評議会	40,000	33,000	予算4回支払い3回(内1回部会時)
	三役会	10,000	10,000	
小計		110,000	79,000	
印刷費	部報	315,000	231,000	当初3報予定。実2報印刷
	会議資料	40,000	36,072	
小計		355,000	267,072	
部会補助費	第11回京都部会補助	459,000	459,000	@¥1,000x459(連絡主事含む)
小計		459,000	459,000	
研修費	部長	17,000	17,000	1回(1月次期役員研修会)
	次期部長	32,000	35,320	2回(1月次期役員研修+3月次期 会長主査研修)
	次期主査	105,000	128,240	1回(3月次期会長主査)x7名
	次期三役	34,000	51,000	1回(1月次期役員研修会)x3名
小計		188,000	231,560	
通信費	郵便・電話・振込手数料等	30,000	15,195	
	部ホームページ関係	70,000	68,040	6月9日更新 前期分+今期分
小計		100,000	83,235	
事務費	事務・備品	50,000	22,638	ピンパッチ代含む -¥27,362
慶弔費	慶弔費	50,000	0	
次期繰越金	予備費	895,209	1,096,193	
支出総合計		2,707,209	2,704,328	

特別会計支出明細

科目	細目	予算額	決算額	備考
YEEP支援支出		0	0	
YC支援金	タイ・バンコク ユースコンボケーション	150,000	150,000	@ ¥75,000x2名
予備費		320,958	320,958	
合計		470,958	470,958	

以上の通りご報告申し上げます。

2007年 7月 1日

2006年～2007年度 京都部会計 片山 吉章 印

上記報告に基づき、監査を実施致しました所、適正に処理されていたことをご報告申し上げます。

2007年 7月 23日

2006年～2007年度 京都部監事 渡邊 公生 印

第12期 京都部修正予算

2007.07.01 ~ 2008.06.30

収入の部

科 目	第11期予算額	第11期決算額	第12期予算額	備 考
部 費	1,326,000	1,323,000	1,287,000	07.07.01付半年報人員429人で算出(@ ¥3,000)
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区より部一律
部活動援助金2	88,400	88,400	85,800	西日本区より部一律 部メンバー1人当り@ ¥200
利息		959		
単年度収入小計	1,514,400	1,512,359	1,472,800	
前期繰り越し金	1,192,809	1,191,969	1,096,193	
合 計	2,707,209	2,704,328	2,568,993	

支出の部

科 目	第11期予算額	第11期決算額	第12期予算額	備 考
事業費	140,000	140,000	140,000	主査活動費 @¥20,000x7事業
部事業費	360,000	325,630	320,000	
ソフトボール支援金	0	0	0	
会議費	110,000	79,000	125,000	役員会・評議会・三役会 会場費等
印刷費	355,000	267,072	284,000	部報・会議資料等
部会補助費	459,000	459,000	446,000	@ ¥1,000x446人(連絡主事含む)
研修費	188,000	231,560	205,000	研修会登録費
通信費	100,000	83,235	41,000	郵便・電話・振込手数料・部ホームページ維持費
事務費	50,000	22,638	30,000	
慶弔費	50,000	0	20,000	
単年度支出小計	1,812,000	1,608,135	1,611,000	
次期繰越金	895,209	1,096,193	957,993	
合 計	2,707,209	2,704,328	2,568,993	

特別会計収入の部

科 目	第11期予算額	第11期決算額	第12期予算額	備 考
前期繰越金	440,958	440,958	320,958	
一般会計より	30,000	30,000	30,000	YC支援金
合 計	470,958	470,958	350,958	

特別会計支出の部

科 目	第11期予算額	第11期決算額	第12期予算額	備 考
YEPP支援支出	0	0	0	
YC支援金	150,000	150,000	100,000	デンマーク・ユースコンホケーション支援
予備費	320,958	320,958	250,958	
合 計	470,958	470,958	350,958	

第12期 京都部修正予算(案) 支出の部

科 目	細目	予算額	備 考
事業費	Yサ・ユース事業	20,000	各事業運営費・資料・通信等
	EMC事業	20,000	
	地域奉仕事業	20,000	
	ファンド事業	20,000	
	交流事業	20,000	
	広報事業	20,000	
	メネット事業	20,000	
小 計		140,000	
部事業費	YYフォーラム	20,000	
	CSチャリティーボーリング	80,000	
	EMC交流会	20,000	
	国際協力募金支援	30,000	
	ワイズデー事業	50,000	
	広報事業	10,000	
	合同メネット会関連	80,000	会場費含む
	特別会計へ	30,000	ユースコンボケーション支援
小 計		320,000	
会議費	役員会	36,000	12回 三条YMCA 教室¥3,000*12
	次期役員会	15,000	5回 三条YMCA 教室¥3,000*5
	評議会	74,000	4回 三条YMCA マナ-ホール3回 + ホテル1回
	三役会	0	
小 計		125,000	
印刷費	部報	246,000	3報 印刷2報 + ホームページ1報
	会議資料	38,000	
小 計		284,000	
部会補助費	第12回京都部部会補助	446,000	@ ¥1,000x446人(連絡主事含む)
小 計		446,000	
研修費	部長	17,000	1回(1月次期役員研修会)
	次期部長	32,000	2回(1月次期役員研修会+3月次期会長主査研修会)
	次期主査	105,000	1回(3月次期会長主査研修会)
	次期三役	51,000	1回(1月次期役員研修会)*3名
小 計		205,000	
通信費	郵便・電話・振込手数料等	10,000	
	部ホームページ関係	31,000	6月9日更新
小 計		41,000	
事務費	事務備品	30,000	
慶弔費	慶弔費	20,000	
次期繰越金		957,993	
支出総合計		2,568,993	

特別会計支出の部

科 目	細目	予算額	備 考
YEEP支援支出		0	
YC支援金	デンマークユースコンボケーション支援	100,000	
予備費		250,958	
合 計		350,958	